

平成 25 年 12 月 16 日

CISPR/F 作業班

CISPR15 国内規格答申検討状況について

CISPR15 は、LED 照明等に関する諸条件を導入して、平成 25 年 5 月に第 8.0 版が発行された。

CISPR15 の前回答申は、平成 17 年 10 月、第 6.2 版に関して答申しているが、その後約 7 年が経過している。その間、LED 光源などを利用した省エネ器具の普及が目覚ましくなり、特に東日本大震災の影響による電力不足を契機に、消費電力の小さい LED 照明が爆発的に普及した。しかしながら、前回の答申では LED 照明については何ら言及されていないため、その明確化が喫緊の課題となっている。

このような状況を鑑み、CISPR/F 作業班にアドホック・グループを設置し、CISPR15 第 8 版の国内規格化答申（案）の作成をすることとなった。平成 25 年 8 月 27 日に第 1 回の CISPR 15 アドホック・グループ会議が開かれ、CISPR 15 第 8 版の国内規格化答申作業を以下のように進めることを決定した。また、アドホック・グループ会議は、既に 4 回開催され、具体的な答申（案）作成作業が開始されている。

1. CISPR15 アドホック・グループの体制について

- ・ リーダーに、平伴氏（日本照明工業会）が指名された。
- ・ グループのメンバーは以下の通り。

第 3 者機関 : 山下氏 (JET、F 作業班主任)、井上氏 (KEC、B 作業班主任)、篠塚氏 (NICT、A 作業班主任)、黒沼氏 (協立電子工業)、梶原氏 (JQA)、三塚氏 (TELEC)
放送通信業界 : 大嶋氏 (NHK)、菅野氏 (NTT)、
照明業界 : 業天氏 (日本照明工業会)、桑原氏 (日本照明工業会)、川股氏 (日本照明工業会)、高岡氏 (日本配線システム工業会)

- ・ 事務局は総務省電波環境課が行う。

2. 答申作業で作成・準備する資料

- (1) CISPR15 第 8 版の日本語訳（案） ※但し、この日本語訳は答申(案)には含まない。
- (2) 国内規格化答申（案）
- (3) CISPR15 第 8 版と今回の国内規格化答申（案）との比較表
- (4) 前回答申と今回の国内規格化答申（案）との比較表

3. これまでの作業経緯

- (1) 第 1 回 平成 25 年 8 月 27 日(火) 設立趣意説明と計画承認
- (2) 第 2 回 平成 25 年 10 月 16 日(水) 日本語訳作業、及びデベिएーション概略説明
- (3) 第 3 回 平成 25 年 11 月 7 日(木) 日本語訳作業
- (4) 第 4 回 平成 25 年 12 月 4 日(水) 日本語訳作業完了

4. 今後の日程

- (1) 第5-6回（平成26年1、3月） デビエーションの説明とその審議
- (2) 第7回（平成26年4月） 国内答申（案）と CISPR15 第8版との比較表の審議
- (4) 第8回（平成26年5月） 前回答申と今回の国内答申（案）との比較表の審議

以上でアドホック・グループ活動終了

- (5) Fグループでの審議（平成26年6月）
- (6) 電波利用環境委員会での審議（平成26年7月）

※ 8月27日報告の日程計画からは約2ヶ月の遅れが発生している。原因は日本語訳の審議期間を2回で計画したのに対し、4回の会議が必要となったためである。

以上